

患者さまへ

研究課題名:「人工膝関節全置換術における術式の違いによる退院時身体機能の違い」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020年12月～2023年7月に当院整形外科で人工膝関節全置換術の手術を受けた方
2 研究目的・方法	<p>人工膝関節全置換術は、変形性膝関節症で手術が必要になった患者さまに行われる手術です。手術では患者さまの状態に合わせて膝の周りのじん帯を温存させるか否かを医師が決めます。人工膝関節全置換術はその手術の方法によって使用する人工膝関節も変わります。この研究では膝の前と後ろ両方のじん帯を残す両十字靭帯代償型人工膝関節全置換術と部分的にじん帯を温存させる十字靭帯温存型人工膝関節全置換術を行った患者さまで、手術の方法や使用した人工膝関節によって、手術後の膝関節機能や運動機能にどのように違いが出てくるのかをすでに得られている診療録の情報から検証します。得られた結果は、今後人工膝関節の種類に合わせたリハビリテーションを計画する上で重要な情報となりうる可能性があります。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年7月予定)後～2025年2月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	研究対象者背景(年齢、性別、BMI)、病歴情報、術前・術後の膝関節可動、術前・術後の筋力(膝伸展・屈曲、股関節外転筋力)など。
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:小川結衣 大垣徳洲会病院リハビリテーション科 理学療法士 住所:岐阜県大垣市林町6丁目85-1 連絡先:0584-77-6110</p>